

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立海老名中学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

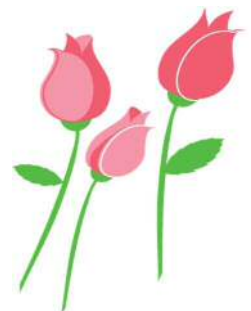
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 中学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫できるかどうかをみる。
- ・論理の展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。
- ・助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。
- ・表現の技法について理解できているかどうかをみる。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解できているかどうかをみる。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができるかどうかをみる。
- ・行書の特徴を理解することができるかどうかをみる。
- ・漢字の行書の読みやすい書き方について理解できているかどうかをみる。
- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

○場面の展開、登場人物の心情や行動などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができず。

○伝えたい事柄を相手や場面に応じた言葉遣いで書くことができます。

### ◆課題のある点

○文中に書かれていない事柄について自分なりの解答を求められた際、文脈の流れから適切に内容を読み取った上で自分の考えを書くことに課題があります。

○提示された、いくつかの情報を同時に処理することに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

○いくつかの情報を比較しながら共通点や相違点を見出す学習指導を行う中で、その情報について自分の考えを明確にする指導を重ねて行います。

○記述する際、語彙を増やす活動をするだけでなく、適切に使うことができる力の定着を目指します。そのために、学習指導の中で新たに獲得した知識を、単元の中で意図的に使う場面を設定します。

# 中学校 数学

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・自然数を素数の積で表すことができるかどうかをみる。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。
- ・反例の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・一次関数の変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 数学的な技能がきちんと身についています。
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件をしっかりと理解しています。
- 連立二元一次方程式を解くことができます。

### ◆課題のある点

- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。
- 一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題があります。
- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 技能や知識は身についています。さらに力を伸ばすために既習内容を復習し、定着をはかる学習指導を行います。
- 数学的に説明する問題に課題が見られたので、言語活動を取り入れたグループ活動など学習活動の工夫を行います。

# 中学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。
- ・静電気や気圧、岩石、状態変化に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる。
- ・天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。
- ・化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素を燃料として使うしくみとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・複数の脊椎動物のあしの骨格について比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。
- ・大地の変動について他者の考察を、検討して改善できるかどうかをみる。
- ・時間的・空間的な見方を働かせながら、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる。
- ・未知の節足動物とアリを比較して、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- タッチパネルの反応に水が関係しているかどうか確かめる実験を計画することができます。
- 水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができます。
- アリが視覚による情報を基に行列をつくるかどうかを調べた実験の結果を基に、正しく考察することができます。

### ◆課題のある点

- おもりにはたらく重力とつりあう力を矢印で表し、その力を説明することに課題が見られます。
- 飛行機雲の残り方について、地上の観測結果を用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討することに課題が見られます。
- 水素を燃料として使うしくみの例をはたらかせるためのおおもとを指摘することに課題が見られます。
- 東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを考察することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 力の表し方などの基本的な事項を丁寧に説明し、問題演習等を通して理解を深めさせる指導を行います。
- 実験の結果を分析して解釈し、課題に対して正対した考察ができるよう授業を工夫します。
- 考察の指導において、自分の考えをわかりやすく表現できるようにすると共に、他者との意見交換を通して、よりよい考え方や表現力が身につくようにします。

# 生徒質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の質問で、「1日2時間以上勉強している生徒の割合」が、全国平均と比べて、14.4ポイント上回りました。日々の学習の積み重ねは大きな効果を生みます。これからも継続していきましょう。
- 「1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」の質問で、「工夫して発表していた人」が、全国平均と比べて、13.4ポイント上回りました。自分の考えを伝える力、相手の考えを聴く力は、社会で生かせる大切な力です。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人は、全国平均と比べて8.2ポイント低い結果となりました。普段の学習や日常生活の中に、自分の夢や目標につながるものが多くあります。また、学習の深まりや意欲にもつながります。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人は、全国平均と比べて、5.6ポイント高くなっています。毎日の学習の積み重ねをこれからも大切にしていきたいと思います。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」の質問では、「3時間以上視聴している」生徒が全国平均と比べて、5.5ポイント高くなっています。SNSや動画視聴は、ご家庭で約束ごとをつくりましょう。

## 今後の具体的な取組について

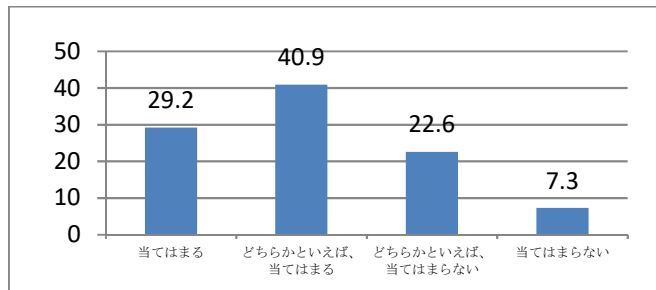
- 教科、学級活動、部活動、行事など、いろいろな場面で、生徒の夢や目標につながることを提示できるようにします。また、自分の取り組みを振り返り、自分の得意なことや好きなことなど、将来につながる自己評価や教員からのアドバイスをする等の工夫をします。
- 1人1台端末の使用について、授業の中で積極的に活用し、有効的な活用方法について、研修をします。また、ネットモラルなど使い方のルールやマナーも指導します。ご家庭でもご協力をお願いします。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

## 1 子どものよいところ、よい行動は積極的に褒めましょう。

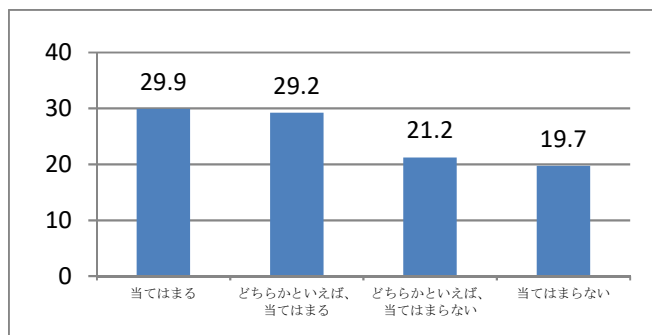
自分のよいところについて、自信を持って主張できる、前向きで明るい人生が送れるように、子どものよいところ、よい行動は積極的に褒めましょう。



自分には、よいところがあると思いますか

## 2 夢や目標、将来のことについて語り合いましょう。

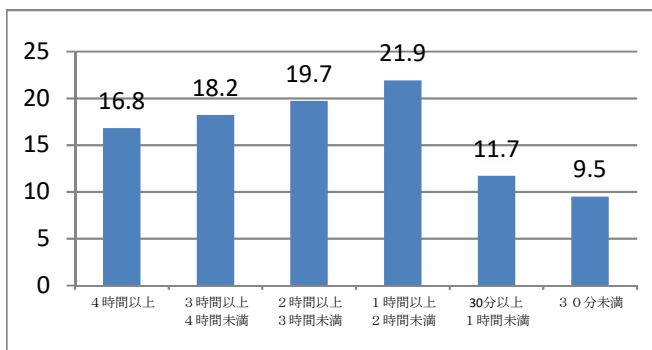
日常の学習や生活の中には、子どもの夢や将来につながるたくさんあります。夢や目標を持つと、それを叶えるためにたくさん努力をします。ご家庭でも普段から、子どもの夢についてたくさん話してください。



将来の夢や目標を持っていますか

## 3 携帯電話・スマートフォンを使用する際は、約束ごとをつくりましょう。

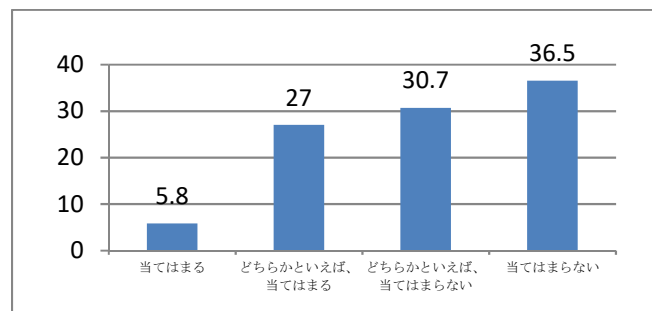
「〇〇時以降は使用しない」「テスト中は、スマートフォンは家族が見えるところで管理する」など、ご家庭で約束ごとをつくってください。



普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか

## 4 地域の行事には積極的に参加をしましょう。

コロナ禍で、地域の行事になかなか参加できない状況ですが、地域の方はいつも私たちの生活を見守ってくれています。感染対策に留意しながら、お祭りや催し物など、地域の行事に積極的に参加するよう声をかけてください。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係